

NPO法人夢・コミュニティ・ネットワーク(夢コミネット)はまちづくりのNPOとして、取り組む6つの事業を定款に掲げています。今号では、各事業を推進する目的と意思を軸にお伝えします。

多様性を認めあう多文化共生のまちづくり

運営する「いそご多文化共生ラウンジ」では、地域に住む外国人住民に区内の日本語教室の紹介や暮らしに役立つ身近な情報提供・相談などを行っています。また、外国人住民と地域をつなぐ多文化共生の拠点として、異なる文化や生活習慣への理解を深めるため、楽しく交流しながらお互いの文化を知る機会をつくり、“だれもが地域で安心してチカラを発揮できる磯子”をめざし事業をすすめています。

まずは知り合う機会から

各国のゲストを招き、その国のお茶やお菓子を楽しみながら交流する「International Tea Party」、親子で手遊びや工作などを楽しみ交流を図る「ISOGO Community Playgroup」、やさしい日本語でおしゃべりする「木曜 夜のおしゃべり会」や英語でおしゃべりする会「Thursday night English Chatting club」などを定期的を実施しています。また、「着物を着ましよう！」や「地震・火災体験の見学ツアー」の他、「久良木公園でホテルを見よう！」のイベントでは、磯子に暮らすさまざまな国・地域出身の方々や家族連れ日本人らが公園の大池の周りに集まり、一緒にホテルの幽玄な美しさに見入りました。



外国につながる子どもたち、市内3番目の伸び率 5年間で2.2倍増加



日本における外国人が増加している現在、外国につながる子どもたちの状況もとても大きく変化しています。

磯子区の特徴としては、区内市立小学校の外国人児童数が、5年間で2.2倍増加しています。これは横浜市内18区の中でも、3番目の伸び率です。

ラウンジにも出産育児・教育に関するさまざまな相談が寄せられます。例えば、出産育児応援金の申請書の書き方をはじめ保育園からは日

本語の苦手な保護者への対応、小学校や中学校転入した日本語のわからない子どもたちへの支援についてなど、相談内容は多岐に渡っています。磯子区に住む外国につながる子どもたちが、地域でのびのびと自分らしさを発揮しながら、相互交流を通して自分たちのまち磯子と思えるよう、一緒にまちをつくっていけるといいなと思います。



● 母語支援ボランティア募集中【随時】

母語支援ボランティアとは、小学校、中学校で、外国につながる子どもたちの母語をつかって勉強をサポートするボランティアの仕組みです。ひとり一人を大事にしながら勉強と学校生活を応援していきましょう。

皆さまのご登録をお待ちしています。お気軽にお問合せください。《詳細はいそご多文共生ラウンジ TEL:045-367-8492まで》

地域で子育てを支える環境づくりと場の運営

夢コネットでは常設の地域子育て支援施設として、親と子のつどいの広場「夢ひろば」・「夢たま」の2か所を運営しています(2023年4月現在 市内70 か所設置)。



◇ 夢ひろば(磯子区杉田、開所12年目)
専門家に聞く「教えて歯科衛生士さん！」



子どもの歯磨き、始めるのはいつ頃?・仕方は合っているのかな・泣いて嫌がる時は?など、ママからの声がありました。そこで専門家である磯子区保健センターの歯科衛生士さんに講習を依頼。わかりやすいお話しと実演でママたちは大満足! 歯磨き情報と同時に、頼れる存在が地域に居ることを知る機会にもなりました。



◇ 夢たま(磯子区丸山、開所7年目)
乳幼児期こそ地域につながりをつくる



地区の「あかちゃん教室」に出向き、ひろばをPRしています。ママ友がほしい、パパ以外の大人と会話をしたい、引っ越してきたばかり…など、さまざまな心配ごとを抱える親子に、安心して過ごせる場の提供をするとともに利用者同士が交流できるようコーディネート。乳幼児期は地域との関わりを築く大切な時期です。

◆ 子育てアドバイザーとして親子に寄り添う

親と子のつどいの広場は、主に0~3歳とその保護者が気軽につどい、同じような不安や悩みを持つ仲間との交流・団らの場の提供等を促進することにより、地域の子育て機能を高め、保護者の育児にかかる心身の負担軽減及び子ども の健やかな育ちを促進することを目的として実施しています。

広場スタッフ(子育てアドバイザー)はスキルアップのためにさまざまな研修に参加しています。また、市内をA~Fの6グループに分け、エリア別の研修会も開催しています。夢ひろば・夢たまはCブロックに属し、磯子区と金沢区の11広場と情報共有をしています。

◆ ナナメで支える支援の重要性

ブロック研修会では広場の役割として「ナナメで支える親子支援」について学びました。

タテの関係は保健師・保育士などの専門職、ヨコの関係は配偶者やママ友など。ナナメの関係とは昔はご近所さんや親せきなどです。

今は核家族化、共働き増加で地域との関係性が希薄と言われています。それによって子育てを困難に感じる保護者が多いため、こども家庭庁の政策『こどもまんなか社会』にもあるように、地域の子育てに関心をもつ「ナナメで支える親子支援」が必要。

乳幼児期の子どもの育ちは、心身の発達を回りつつ生涯にわたる人格形成の基礎にあたる大切な時期です。その大事な時期の支援をつどいの広場スタッフは託されていることを確認しあいました。

誰もが安心して過ごせるまちづくりの推進事業

障がい理解啓発活動 小学校への出前講座「みんなちがって、みんないい」

誰もがのびのびと暮らせる地域をめざして、「いそごキャラバン」では福祉教育の出前講座を行っています。12月の人権週間を中心に磯子区内4つの小学校に「感覚の違いを知ろう」をテーマに出前授業に出向き、感覚の違いを寸劇やなぞなどを通して低学年にもわかりやすく伝えました。「みんなちがってみんないい」、人それぞれ感覚が違うということを知り、お互いを思いやれるあたたかい関係ができることをめざしています。



地域福祉・高齢者の社会参加を進める取り組み(サービスB)

身近な場所での介護予防で「健康寿命」を延ばそう

コミュニティステーション夢まるでは、誰もがいつまでも自分らしく元気に暮らすことができるよう、健康寿命を延ばすための取り組みを行っています。これからの人生を自分らしく生きていくために、まだまだ体力にも自信があり元気に活動できるうちに、介護保険を上手に利用しながら介護予防に取り組めるよう、滝頭地域ケアプラザさんと連携し「介護保険説明会」を実施しました。



生涯学習・社会教育の推進に関わる事業と施設の管理運営

指定管理者として管理運営する「横浜市社会教育コーナー」の役割は、市民が地域の中で主体的に学び、心豊かな生活につながるよう、学習や活動を推進するための場や機会を提供するとともに、生涯学習や社会教育の推進に関わる職員の人材育成に取り組むことです。今年度は社会教育に関わる人材の育成と若者の社会参加を目指した事業に注力しました。

◆ 社会参加 主体的な参加のきっかけづくり

「社会教育士をめざす人のための基礎講座」では、学びを社会のいたるところに仕掛け、豊かな地域づくりへの展開を支援する専門的な人材である社会教育士について全4回の連続講座を行いました。

第1回は公開講座として、全国で人気の高い廣瀬隆人氏に「社会教育士 なにをする人なのか」のテーマで開催。市民が社会教育士となることで、地域づくりや人づくりに貢献できること、それには人と人が仲良くなるのが大切であることが話されました。2回目からは地域の課題解決をしていく際に必要な学習プログラムの作り方を学び、実際にグループで気になる社会の課題を決め、学習プログラムを作成し、参加者同士で検討し合いました。グループワークそのものが仲間づくりの体験となり人との関わりを楽しみながら社会教育士の役割を知る機会となりました。

◆ 人材育成 地域の学びと活動を活性化させる人材の育成・若者の社会参加を促す



「若者企画によるボランティア入門」のイベントでは、社会教育実習の実施にきた大学生を中心に計画しました。自分に関心のあるテーマで企画してもらったところ、ボランティアに一步踏み出せないでいる学生や若い人向けに、ボランティア体験講座を実施することになりました。

当日は昨年度の実習生も加わり、学生が自らの体験談を話したり、参加者と交流しながら実際に磯子駅前のゴミ

み拾いや区役所前の記念碑を確認したりし、最後に参加者と活動してどうだったかのふり返りを実施。

みんなでやることで声をかけあって楽しくゴミを分別できたり、公園にいた若者に声をかけられたりとお会いや発見もありました。若者の感性で異世代の人と一緒に考え、同じ活動をすることでお互いの理解にもなったのではと感じました。

学びあいと仲間づくりによる地域の担い手育成事業

持続可能な地域のための「地域づくり大学校」の取り組み

地域活動の担い手を育成する取組として、横浜市内18区で地域づくりを実践的に学ぶ市民講座「地域づくり大学校」が実施されています。夢コミネットでは地域活動に大切な「応援しあう仲間づくり」を柱に、これまでも行政や社会福祉協議会等と協働で「地域づくり大学校」に取り組んできました。講座の修了生から地域課題の解決や魅力づくりにつながる様々な取組も生まれています。

・ 地域づくり大学校「いそご地域づくり塾」

地域活動に活かせる「コミュニケーション」「ファシリテーション」「思いを伝えるプレゼンテーション」の3つの力をグループワークを通して身につける内容としました。



・ 地域づくり大学校「寺子屋みなみ」

地域活動ENJOY！トライアルと題して、仲間とのイベント体験や地域ボランティア活動の体験を通じて、参加者のやりたいことを具体化する機会をつくりました。

地域活動の連携・ネットワークづくりの推進事業

商店街や町内会と連携「地域交流イベントのコーディネート」



新型コロナウイルスの影響により休止していたイベントが復活。工夫しながらできることを進めました。9月開催の滝頭地区地域づくり連合会主催の「昔あそび広場」は、根岸橋通り商店街を会場に地元のボランティアさんが子どもたちのチャレンジを応援(竹馬、ベーゴマ、缶ぼっくり等)。夢コミネットは事務局としてイベントをコーディネートしました。

引き続き、身近な場所で子どもたちとボランティアさん、商店街が交流することで地域の元気づくりに取り組みます。



2024年に開催する事業の案内

いそご多文化共生ラウンジ 募集情報

● やさしい日本語教室

「やさしい日本語」を自信をもって使いたい！というラウンジスタッフの希望から、やさしい日本語の勉強会を始めます。

開催は毎月1回を予定し、講師は、「みんなの日本語」の監修者でもある石澤弘子さんです。

【開催日】第2回は2024年1月18日(木)10時～12時です。一緒に勉強しませんか。

【申込み締め切り】1月17日(水)

【申込み方法】お電話 TEL:045-367-8492

または以下のURL・QRコードよりお申込みください。

<https://forms.gle/uBtmTMC1tuTVF7tt9>



日本語教室
お申込み
フォーム



● 日本の小学校や中学校の入学準備はどうすればいいの？

新小学1年生、中学生の子どもをもつ保護者向け説明会

日本に住んでいる外国籍の親向けに

入学準備のお悩みや疑問に答えます。

【開催日】2024年2月24日(土)

【申込み方法】右側のQRコードよりお申込みください。



説明会
お申込み
フォーム



【場所】いそご多文化共生ラウンジ <https://isogo-lounge.com/>

〒235-0016 神奈川県横浜市磯子区磯子3-4-23 浜田ビル3階（磯子区役所隣、1階はヤオコー横浜磯子店）

「若者の現状と社会参加」～よこはまユースの取り組みから～



地域で社会教育に関わる人や学習を支援するコーディネーターたちの学びのコミュニティ「よこはま社会教育士ネットワーク交流会」。

1月は公益財団よこはまユースの方から、若者の社会参加の課題（現状や貧困、引きこもり等）や法人での先駆的な取り組みを伺い、これから何ができるかを考えます。

【開催日】2024年1月30日(火)18時30分～20時

【会場】横浜市社会教育コーナー

【参加費】500円

【申込み方法】Eメール info@yumecomi.net、TEL045-761-4321

会員募集！ 誰もが夢をかなえられる社会を目指して

夢コミネットは、会員の皆さんに支えられて運営しています
ぜひ会員として「地域での仲間づくり」活動を応援してください

- ◆ 正会員 年会費 6,000円
会の目的に賛同し、運営に積極的に参加する個人
議決権有、会報誌・メールマガジンの送付、主催講座の割引
- ◆ 準会員 年会費 2,000円
会の目的に賛同し、会の提供するサービスや講座等に参加する個人
会報誌・メールマガジンの送付
- ◆ 賛助会員 年会費 5,000円(1口以上)
会の目的に賛同し、運営を財政的にサポートする個人または団体
会報誌の送付

〈入会方法〉

ご入会は会費を下記にお振込みくださいますようお願いいたします。

- 郵便振替 00290-6-94824 夢コミネット
- 銀行振込 横浜銀行 磯子支店 普通 1323239 夢コミネット
- ★ ふるさと納税「よこはま夢ファンド」で夢コミネットに寄付が可能です。

編集後記

新しい事業により、活動に関わる仲間やスタッフも増えています。年齢や経験、関心のあるテーマもさまざまな多様な価値観に触れ、楽しい刺激を得ています。2024年は甲辰。これからの成長をさらにカタチ作っていく年だそうです。

銀の龍の背に乗り、「さあ、行こうぜ！」



夢コミ通信 ぱぴ vol.43 発行:2024年1月1日

NPO法人 夢・コミュニティ・ネットワーク

〒235-0036

横浜市磯子区中原4-26-27-204

TEL&FAX : 045-342-7879

Email : info@yumecomi.net

URL : <https://yumecomi.net>

